



—東地中海地域、湾岸・アラビア半島地域ニュース—

シリア・サウジアラビア：イエメン反政府勢力問題に関するサウジ支持声明
(11月10日付シリア国営通信)

11月10日、シリア政府筋は、最近のイエメン反政府勢力によるサウジアラビアの国境侵犯に関し、サウジを支持する下記の声明を発表した。(注：イエメン反政府勢力の支援国とされるイランのモッタキー外相が間接的にサウジを批判する中で、シリアがサウジを擁護する立場を明らかにしたことが注目される)

1. サウジアラビアの安全と神聖性に対して最近行われた侵害行為を強く非難する。
2. シリアは、サウジアラビアが有する同国の主権と領域内の安全を守る正当な権利を支持する。
3. シリアは、地域の安全と安定に資するよう、この危機が速やかに封じ込められることを希望する。

注：イエメン北部の反政府勢力ハウシー・グループ

イエメン北部に居住するシーア派の一派ザイド派に属する住民は、シーア派を異端視するワッハーブ派のサウジとの同盟関係を強めるサーレハ現イエメン政権によって差別・迫害を受けているとして、2004年に反政府武装闘争を開始した。

闘争指導者の部族名からハウシー・グループと呼ばれるこの反政府武装勢力とイエメン政府軍は、それ以降これまでに、停戦合意を挟み数度にわたり戦火を交えてきた。

現在の戦闘は今年8月半ばに勃発したもので、11月初めにはハウシー・グループが国境を越えてサウジ領内の地点を占拠、これを押し返そうとサウジ政府軍が同グループに対し空爆・爆撃を加えるなど、戦況は激化の一途をたどっている。